

## 補助金の特長とハードル

「補助金とは国や自治体などが政策を推進するために、政策目的に合った事業を支援するために提供する」返済する必要のない資金である。

この補助金事業制度を活用するためには、補助金制度独特のノウハウを必要とする。それ以外にも不確実性・人材・労力・制約条件・付帯条件などの大きなハードルがあり、総合的な判断が必要となる。



## 制約条件

補助事業は毎年様々な形態のものが数多く予算化されているが、それぞれの補助金の目的や政策に合致したものを選択することが重要である。

補助事業者は、補助事業の完了後、一定期間省エネルギー率等の事業報告を提出する必要がある。その他、工期が限定されることも注視し、それに合わせた施工計画を立案することが大切である。

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
準備年度	工事関係												
	申請等業務									補助金申請準備(調査、企画、概算見積)			
実施年度	工事関係	関係書類準備(図面、見積り)					正式な発注、工事の実施						
	申請等業務	説明会	公募申請			交付決定					完了	実績報告	入金